

1 文献名
『立教百年誌』
2 学校名
立教小学校
3 災害名
明治24年(1891年)濃尾地震
4 記述の概要
(1) 雨や風、地震などの様子
極めて強烈な地震が桑名地方に襲来した。余震は日を経てもやまなかった。(P44)
(2) 学校内や地域の被害の状況
人家の倒壊、道路堤防の亀裂や決潰がすこぶる多かった。(P44)
(3) 復旧の様子
(4) 体験談
(5) 教訓など
(6) その他

1 文献名
『立教百年誌』
2 学校名
立教小学校
3 災害名
昭和 19 年（1944 年）東南海地震
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
<p>93 名ぎっしり机を並べて習字をしている時に、地震は起こった。 余震が何度かあり、夕方まで恐怖におののいていた。（P184） 2 階の教室は、揺れがひどく大変な騒ぎとなった。（P189）（※） 強い風が吹いてきた様な音がした後、急に揺れ出した。（P192）</p>
（2）学校内や地域の被害の状況
<p>正門のレンガ製の門柱が倒壊した。（P181、184） 昔の堀の埋立地のため、校庭のあちこちで地割れがして、水を噴き上げていた。町中のあちこちで大きな被害があった。（P184） 校庭は水びたしで、ひざ下まで水につかった。（P192～193） 講堂では、周りや天井の壁土が落ちてきた。（P192） 地震の後、大丈夫かどうか確認できるまで校舎の 2 階にあげてもらえず、カバンを置いたまま帰宅した。（P193）</p>
（3）復旧の様子
（4）体験談
<p>名古屋港近くの工場へ動員されていた女学生多数が大地割れに吸い込まれて死亡したという悲報を聞いた。（P184）</p>
（5）教訓など
<p>下駄箱は倒れたが、幸い全員靴はいつでも空襲警報が入ったら逃げ帰れるよう机の下に置いてあったので、早く運動場へと避難することができた。（P184）</p>
（6）その他
<p>※P189 の記述は、本文中には「三河地震」とあるが、記述内容から判断して「東南海地震」のことであると考えられる。</p>

1 文献名
『立教百年誌』
2 学校名
立教小学校
3 災害名
昭和9年（1934年）室戸台風
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
桑名の町には強風が吹き荒れた。（P172）
（2）学校内や地域の被害の状況
ちょうど登校時間に当たったため、吹き飛ばされてけがをした友達がいた。（P172）
（3）復旧の様子
（4）体験談
この災害で、水害のもたらすこわさや、「風速」、「二百十日の厄日」といった言葉を覚えた。（P173）
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『立教百年誌』
2 学校名
立教小学校
3 災害名
大正 12 年（1923 年）関東大震災
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
突然ぐらぐらときた。校庭からみた校舎は、屋根の上が波打つように見えて恐ろしかった。（P120）
（2）学校内や地域の被害の状況
地震当日は第 2 学期の始業式の日で、生徒も先生も大方下校していた。残っていた先生は先を争って職員室の非常口から校庭へ出た。（P120）
（3）復旧の様子
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『立教百年誌』
2 学校名
立教小学校
3 災害名
昭和 34 年（1959 年）伊勢湾台風
4 記述の概要
(1) 雨や風、地震などの様子
(2) 学校内や地域の被害の状況
<p>小学校で 1 名、幼稚園児 1 名の死者が出た。</p> <p>校地は、運動場が浸水約 3 m、激流により校庭に大凹地が生じ、樹木の大半は倒れ、校庭周辺の木柵は破壊された。</p> <p>校舎は、別館 1 棟が倒壊流失した。本館校舎内は床上浸水約 1 m、屋根瓦の大部分ははげ、ガラス窓は多数が破損した。出入口扉の大部分は破壊流失し、天井板の大部分は破損した。西校舎は全般的に北へ傾斜し、給食室東半分は半壊した。</p> <p>給食室の機械施設その他は使用不能となり、児童用机・いすなどの備品の多数も流失または破損した。給食食器類の大部分も流失した。</p> <p>幼稚園舎は屋根が飛散し、ガラス窓も多数破壊した。(P97～98)</p>
(3) 復旧の様子
<p>学区内、市内、県内外から、義援金、救援物資、労力奉仕が寄せられた。</p> <p>決壊した海岸・河川堤防は、大がかりな応急工事により、10 月 17 日に旧堤防の仮締切、10 月末に湛水は排除された。その後 11 月 2 日の強風によって一部地区が破堤、立教地区は浸水したが、11 月 17 日ようやく排水工事は完了した。(P99～100)</p> <p>より大きな被害にあった城東小学校は、10 月 17 日から第 2 学期の終わる 12 月 24 日まで、臨時的に立教小学校校舎で臨時的に授業を実施した。(P100)</p> <p>台風当日から校舎 2 階は、区内で災した人々の避難所となり、児童の学習は、干潮時を利用した変則的な日課で進められた。(P129)</p>
(4) 体験談
<p>9 月 26 日夕刻の警報と同時に、若い男の先生も全員出勤して警備につき、重要書類を 2 階にあげて万一来に備えた。(P128～129)</p>
(5) 教訓など
(6) その他